

令和5（2023）年度ナラ枯れ被害状況（速報値）について

令和5（2023）年12月11日 環境森林部森林整備課

- 令和5（2023）年度10月末時点で、県内13市町において被害木8,983本が確認された。
- 依然として新規被害は見られるものの、対策効果も見込まれるため、引き続き、現対策基本方針に基づき市町等と連携しながら被害状況に応じた防除対策を実施していく。

1 新規被害状況

（単位：本）

時 点	宇都宮市	足利市	栃木市	佐野市	鹿沼市	小山市	真岡市	さくら市	下野市	上三川町	益子町	壬生町	野木町	計
R2(2020)年度末	-	41	3	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	56
R3(2021)年度末	-	95	261	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	371
R4(2022)年度末	14	1,500	3,611	1,050	-	125	43	-	48	2	-	5	68	6,466
R5(2023)年10月末	105	1,880	4,910	1,131	37	286	174	52	175	5	147	6	75	8,983

・今年度、新たに3市町で被害が確認された（鹿沼市、さくら市、益子町）。

2 今年度における県の取組

方針	内容	
監視の実施	被害木の探査	・防災ヘリを活用した空中探査及び自動車利用による地上探査を実施
	生息モニタリング調査	・県内のカシノナガキクイムシの生息の有無等を調査
駆除等の実施	・被害状況に応じて選択的に伐倒くん蒸及び立木くん蒸駆除等を実施	
情報共有体制	・栃木県ナラ枯れ被害防除対策会議を開催し、県内関係機関（環境省・国有林・市町・森林組合・学識経験者等）と情報共有・連携を図る	
その他	・HPやSNS等による県民への注意喚起 ・防除対策マニュアルによる防除方法の周知	

図1 栃木県におけるナラ枯れ被害確認場所

